

第 32 回 西アジア発掘調査報告会報告集 執筆要項・提出方法

※ 編集作業軽減のため、表記統一のご協力をお願い申し上げます。

※ **原稿テンプレートをお送りしますので、それを書き代える形で作成してください。ひな型原稿の分量が、印刷仕上がり 4 ページになります。**

※印刷仕上がり例の PDF もご確認ください（図は適宜サイズ変更されます。予稿集の図はモノクロになります）。

1. 文字・数字の体裁

- ・ Microsoft Word で作成し、拡張子「.doc」「.docx」のファイルで提出してください。
- ・ 本文は MS 明朝、欧文は Times New Roman、フォントサイズ 10pt で作成してください。
本文の見出し番号と見出しは、MS ゴシック体
- ・ 数字や単位は半角英数にしてください（例：1, 25, km）。掛け算記号は、x（エックス）ではなく、記号×を用いてください。
- ・ カッコは全角にしてください。ただし、参考文献などで文章全体が欧文の場合は半角にしてください。

2. テキストの構成と体裁

- ① 発表題目（主題、副題）（英文併記）
- ② 執筆者全員の氏名・所属・職名（英文併記）
- ③ 本文
- ④ 参考文献
- ⑤ 図版番号・キャプション
- ⑥ 代表者連絡先

上記の構成について、以下に詳しく説明します。

① 発表題目（主題、副題）（英文併記）

- ・ 原則として申込時の題目と同じものです。主題は調査の目的や研究内容が一般市民にも伝わりやすいものとし、副題に調査国、遺跡名、発掘回数、発掘年が記されているのが理想です。
- ・ 日本語および英語の両方で表記してください。申込フォームでは発表題目（主題）、副題別々にご記入いただきましたが、テキスト原稿では、主題副題をつなげてください。日本語では副題を「-」（ダッシュ）で前後を括り、英語では「:」（コロン）の後、半角 1 字分を空けてつなげてください。
- ・ 英文題目は頭文字（冠詞等のぞく）を大文字表記にしてください。
例：コーカサスの中石器文化ーアルメニアにおける考古学調査（2015 年）ー

② 執筆者全員の氏名・所属・職名（英文併記）

- ・英文氏名は[苗字, 名前]とする（苗字は全て大文字でそのあとに「,」を入れる。）名前は最初のみ大文字。
- ・英文所属は[職名, 所属]とし、単語の頭文字を大文字。

例： 西アジア 太郎 日本西アジア考古学会会長

NISHIAJIA, Taro President, Japanese Society for West Asian Archaeology

- ・執筆者が 2 名以上の隊の場合、紙面の関係上、目次・インデックスには全員のお名前を掲載できません。特に指示がない場合は、代表者のみを掲載し、最後に「ほか」をつけます。複数名の記載を希望する場合は、上限 3 名の掲載が可能ですので、ご指示くださいますようお願いいたします。掲載したい氏名の前に番号をふるなどして、ご指示ください。

例 1：指示のない場合

（執筆者）：田中 晃、渡辺 了、鈴木 信也、東山 誠一、山田 托男、橋本 久志

（目次・インデックス）⇒田中 晃ほか

例 2：複数名のうち、2名掲載希望の場合

（執筆者）：①田中 晃、渡辺 了、鈴木 信也、②東山 誠一、山田 托男、橋本 久志

（目次・インデックス）⇒ 田中 晃、東山 誠一 ほか

③ 本文

- ・4,000 字程度 ※規定ページ内に収まるよう調整してください。
- ・読みやすいように、見出し番号と見出し（MS ゴシック体）をつけ、改行してください。
例：1. はじめに ...// 2. 調査目的 // 4. まとめと展望
- ・単位や算用数字の表記は学会誌『西アジア考古学』と同じです。算用数字の表記：桁数に関わらず半角。単位の表記：カタカナや漢字（「ヘクタール」「平米」等）ではなく、アルファベット（「ha」「m²」「km」等）。数値と単位記号の間は、半角で 1 字分空ける。
- ・数字が範囲で示される場合、日本語の場合は「～」とし（例：1～3m）とし、英語の場合は en dash 「-」（例：2020–2021）とする。ただし、参考文献のページ数の表記は、日本語も en dash 「-」とする。（例：132–135 頁）
- ・千年紀は「千年紀」とする。（例：2 千年紀←「2000 年紀」としない）

④ 参考文献

- ・関連の報告書・概報・関連刊行物など。極端に多い場合は最近の 5 年に絞るなど適宜短くする。
- ・参考文献の書式は、学会誌『西アジア考古学』に準じてください。
- ・過去の発掘報告会報告集は『第 XX 回西アジア発掘調査報告会報告集』X-X 頁 日本西

アジア考古学会」としてください。

⑤ 図版番号・キャプション

- ・図版番号は図 1、図 2、図 3 とし（数字は半角英数）、各図版にキャプションをつけてください。

例：図 1 調査地の位置、図 2 遺跡全景

⑥ 代表者連絡先

- ・代表者名と、校正を pdf で受け取ることができるメールアドレスを書いてください。

3. 図版（図・表・写真）の体裁

- ・図版は必要最低限の数量にとどめてください。
- ・印刷は白黒です。カラーでしか判断できない図表は避けてください。
- ・「.jpg」「.tiff」「.psd」「.eps」「.ai」などの形式で保存した電子データで提出してください。
- ・印刷用の高解像度（仕上りサイズで 350dpi 以上）で作成してください。
- ・それぞれを個別のファイルとしてご提出ください。ワープロソフトやパワーポイントなどに貼り付けたデータはお受けできません。
- ・図版のファイル名は、図 1、図 2...のように、図の番号にしてください。
- ・本文中に図版の挿入場所をご指示下さい。例：土壁が検出された（図 3）。
- ・Illustrator で作成した場合、テキストをアウトライン処理してください。
- ・図版の縮尺は編集担当者の判断で行い、基本的に幅一段分（6.6cm）の大きさに配置します。特に希望があれば pdf などご指示してください。
- ・掲載する図版の著作権所有者・機関からの許諾は執筆者の責任において事前に取得してください。

4. 紙幅制限について

下記の仕上り仕様で 4 ページまで。

※仕上がりは A4 版 横書き 2 段組 1 段 23 字×46 行

※最初のページは、報告題目や執筆者の人数により本文行数が変わります。

5. 提出方法

- ・テキスト原稿と図版のデータを下記宛に E メールして下さい。件名を「第 32 回西アジア発掘報告会原稿」と明記ください。

原稿提出先：西アジア発掘調査報告集編集担当（門脇誠二）： kadowaki@num.nagoya-u.ac.jp

- ・ファイルサイズが大きい場合は（10MB 以上）、ウェブ上のファイル送信サービスを利用してください。また、別途メールにて送付した旨をお知らせください。
- ・送付後 1 週間たっても受領確認メールが届かない場合は、誠にお手数ですが、上記編集または下記学会事務局宛にご連絡くださいますようお願いいたします。

日本西アジア考古学会事務局 メール：office@jswaa.org FAX：029-853-4432

提出締切り：2024年12月23日（月）

※ 締め切り厳守にご協力ください。提出可能な方は、早めに提出いただくと助かります。締切りに間に合わない場合は、編集担当（kadowaki@num.nagoya-u.ac.jp）までご相談ください。遅れが生じる場合は掲載できない場合もありますことをご了解ください。

6. 校正

- ・著者による校正は初校のみとし、校正での大幅な加筆、修正等をご遠慮ください。
- ・著者校正は1月下旬に予定しています。12月から1月にかけて長期不在のご予定がある方は、あらかじめご相談ください。